

+ おくすりばこ

松本薬剤師会
会営村井薬局ニュース
第165号 R6年4月15日発行



名前はムラビット！！

献血で集められた血液の半分は、医療機関で使われるアルブミン製剤などの医薬品を造るために使われているのをご存じでしょうか。けがをしたときの輸血に使われるイメージがありますが、けがの治療で輸血されるのは全体のごくわずかで、ほとんどは、がんなどの病気の治療に使われています。輸血に使われるのは、献血血液のおよそ半分で、残りの半分は血漿分画製剤という医薬品を造るために使われています。

「献血」は命をつなぐボランティア

医療技術が進歩した今日でも血液は人工的に造ることができず、長期保存もできません。また、献血者の健康を守るため、一人のかたが1年間に献血できる回数や量には上限があります。そのため、患者さんに安定的に血液製剤をお届けするためには、一年を通じて多くのかたに継続してご協力いただく必要があります。



若い世代の協力が必要です！

近年、日本の少子高齢化の影響により、献血ができる人口(16~69歳)は減少しています。さらに、10代から30代の献血者数は、この10年で約32%(2012年度:約251万人→2021年:約171万人)も減少しており、献血可能人口が減少し続ける中、若い世代の方々からの協力が得られなくなると、将来必要な血液量を確保できなくなるおそれがあります。今後も患者さんに血液を安定的に届けるためには、若い世代をはじめ皆さんの継続的な協力が必要不可欠です。



出典:「年代別献血者数と献血量の推移」(厚生労働省・日本赤十字社)

献血について知りたい方は
こちらをチェック！



厚生労働省ホームページ
「献血について知りたい」

◎お薬のことや健康のことで困っていることなどありましたら、
いつでも薬剤師にご相談下さい。

松本薬剤師会 会営村井薬局
松本市村井町南 4-2-10
TEL (0263) 58-1202 FAX (0263) 57-9823